

故事成語「守株（株を守る）」確認テスト（韓非子） | 定期テスト対策 | 誰でも古典塾 解答・解説

問1 兔走りて株に触れ、頸を折りて死す。／「走」は「走る・駆ける」、「触」は「触れる・ぶつかる」と読む。

問2 兔が走って（駆けてきて）切り株にぶつかり、首の骨を折って死んだ。

問3 因りて其の耒を积てて株を守り／「因」は「よりて」、「积」は「すてて」と読む。「耒（らい）」はすき。

問4 そこで（その農夫は）自分のすきを放り出して切り株を見守り、もう一度兔を手に入れたいと願った。

問5 古い習慣や過去の成功体験にいつまでも固執して、状況の変化に応じた工夫をせず、進歩がないこと。

問6 待ちぼうけ。（「株を守る」も可）／いずれも、一度きりの幸運をあてにして同じことを繰り返し、無駄に待つさまをいう。

問7 （例）昔うまくいった営業のやり方や勉強法に固執し、時代や状況が変わっても見直さずに同じことを続けて成果が上がらない、といった例。具体例があり「過去の成功体験への固執」という趣旨が示されていれば可。

問8 復た兔を得んことを冀ふ。／「復」は「また」、「冀」は「こひねがふ（願う）」。「得ん」の「ん（む）」は意志・願望を表す。

問9 兔は二度とは手に入れることができなかった。

問10 「…することができない」という不可能の意味。（「復た得べからず」＝二度と得ることはできない）

問11 （その）わが身は宋国じゅうの笑い者となった。

問12 兔は二度と手に入らず、その身（農夫）は宋国じゅうの笑い者になった。

問13 田の中にあった木の切り株。兔が走ってぶつかり死んだ場所であり、農夫がふたたび兔を得ようを見守った対象。

問14 願う。こいねがう。（強く望む）

問15 手放す。放り出す。捨てておく。

問16 田を耕していた宋の農夫（その人自身）。

問17 イ（そこで・それがもとで）／「因」は前の出来事を受けて「それがきっかけで・そこで」の意。

問18 偶然、兔が切り株にぶつかって死に、労せずに兔を手に入れられたので、また同じように兔が得られるだろうと期待したから。

問19 読み…また／意味…ふたたび。もう一度。

問20 『韓非子』（五蠹）。

問21 (例) たまたまの幸運をあてにして同じ方法に固執しては、変化する現実に対応できず失敗する、という教訓。(古い成功体験に頼らず工夫せよ、という趣旨であれば可)

問22 イ／一度きりの偶然の幸運を、これからもいつも起こることだと思い込んで同じ行動を繰り返した点が誤りである。